

2020年8月28日

安倍首相辞任表明

安倍首相、辞任へ 健康不安、払拭できず

時事通信 2020年08月28日 14時54分

安倍晋三首相は28日、辞任する意向を固めた。指摘されていた持病の悪化が理由とみられる。同日夕の記者会見で正式に表明する見通し。首相は健康不安が払拭（ふっしょく）できないまま、来年9月までの自民党総裁任期を待たずに退陣することになった。自民党は政治空白を避けるため、速やかに後継選びに着手する方針だ。

首相は28日午前、首相官邸で麻生太郎副総理兼財務相と約35分會談した。

首相は8月17、24両日に「検査のため」として東京都内の慶応大病院を訪問。24日には「体調管理に万全を期し、また仕事に頑張りたい」と職務継続の意思を示していた。一方、政権内では持病の潰瘍性大腸炎が悪化したとの見方が強まり、健康不安説が広がっていた。

安倍首相が辞意 体調悪化、職務継続は困難と判断

2020/8/28 14:37 (JST)8/28 14:38 (JST)updated 共同通信社

安倍晋三首相(65)は辞任する意向を固めた。政権幹部が28日、明らかにした。自身の体調が悪化し、首相の職務を継続するのは困難と判断した。2012年12月の第2次内閣発足から約7年半。意欲を示した憲法改正や北朝鮮拉致問題の解決に道筋を付けられないままの退陣となる。「安倍1強」と評されたが、新型コロナウイルス対策は迷走し、内閣支持率は下落傾向に入っていた。自民党は速やかに総裁選を実施し、新総裁を選出する。

首相は今年17日、東京・信濃町の慶応大病院で約7時間半にわたって「日帰り検診」を受け、24日に再び受診し、政府、与党内で体調不良説がささやかれていた。



自民党本部に入る安倍首相=28日午後2時1分、

東京・永田町

安倍晋三首相が辞任の意向 周囲に伝える

朝日新聞デジタル 2020年8月28日 14時24分



首相官邸に入る安倍晋三首相=2020年8月

28日午前9時58分、恵原弘太郎撮影

安倍晋三首相が辞任の意向を固め周囲に伝えた。

第2次安倍政権、突然の幕引き 最長記録更新したばかり

朝日新聞デジタル 2020年8月28日 15時00分



首相官邸に入る安倍晋三首相=2020年8月28日午前9時58分、恵原弘太郎撮影



安倍晋三首相は28日、持病の悪化で辞任する意向を固めた。同日夕、首相官邸で記者会見を開き、辞任を正式に表明する見通しだ。2012年末から約7年8カ月続き、憲政史上最長となっていた第2次安倍政権は突然の幕引きとなった。

安倍首相は同日午後、自民党本部で二階俊博幹事長と會談し、辞任の意向を伝えた。今後の党運営などについても協議したとみられる。

首相は今年17日、24日の2度にわたって、慶応義塾大学病院(東京都新宿区)を受診。首相は2007年の第1次安倍政権時に辞職した際、持病の潰瘍(かいよう)性大腸炎を公表しており、与党からも首相の健康を不安視する声が強まっていた。

辞任の意向を受け、自民党は臨時役員会などを開き、後任を選ぶ総裁選などの協議を行う見通し。「ポスト安倍」として首相が期待してきた岸田文雄政調会長や、首相とは距離のある石破茂元幹事長に加え、政権を支えてきた菅義偉官房長官らを軸とした候補者選びが始まることになる。

安倍首相は07年に自身の体調不良などから約1年で首相を辞任。12年の自民党総裁選で再び勝利し、再び咲いた。同年12月の衆院選に勝利し、民主党から政権を奪い返した。15年総裁選は無投票で再選、18年は石破氏を破って3選を果たした。今年8月24日には大祖父である佐藤栄作氏が持つ連続在職日数の2798日を超え、最長政権の記録を更新したばかりだった。

首相は第2次政権の約7年8カ月の間、大胆な金融緩和を主軸とする「アベノミクス」と呼ばれる経済政策を推進。消費税を14年と19年の2回、引き上げた。批判の多い集団的自衛権の行使を可能とした安全保障法制や、特定秘密保護法、共謀罪などを成立させた。

一方、首相自身や妻昭恵氏の関与が追及された森友・加計学園問題や「桜を見る会」などの問題も相次ぎ、長期政権における弊害も指摘されていた。

今年に入っては新型コロナウイルス感染症の拡大により、

今夏に予定されていた東京五輪・パラリンピックの1年延期を決定。コロナ対応では「アベノマスク」と揶揄（やゆ）された布マスクの全戸配布や自宅でくつろぐ動画の投稿などで批判にさらされ、今年5月の朝日新聞の世論調査では内閣支持率が29%と第2次政権下で最低を記録。厳しい政権運営を強いられていた。

【速報中】「え、うそ」首相辞任の意向に与野党から驚き

朝日新聞デジタル 2020年8月28日 15時24分



首相官邸に入る安倍晋三首相=2020年8月28日午前9時58分、恵原弘太郎撮影

7年半におよぶ長期政権を築いた安倍晋三首相の突然の決断——。辞任の意向を固めた安倍首相は28日午後5時から、首相官邸で記者会見を開く予定です。自らの体調などについてどのような説明をするのか。永田町などの動きをタイムラインで詳報・解説するとともに、会見の様子を動画でお届けします。

14:40

国民・玉木代表「早く治療に専念して頂きたい」

安倍晋三首相が辞任の意向を固めたことを受け、国民民主党の玉木雄一郎代表は記者会見で「ポスト安倍の政治や政策をどうするのか。これは政府・与党だけでなく、野党としてもしっかり考え、対案・対策を示していかなければいけない。その必要性がより高まった」と述べた。

玉木氏は「大変、驚いた。首相の職を辞さなければならないほど体調が悪化していたということなら、早く治療に専念して頂きたい」とも語った。

解説=三輪さち子記者

次の政権運営を誰に？会見での発言に注目

安倍晋三首相は自身の健康の問題から、辞意を固めました。辞任の意向が明らかになる前に設定されたこの日午後5時の記者会見では、首相自らが説明するものとみられます。

首相が官邸で正式に会見するのは、通常国会閉会直後の6月18日以来。なぜ今辞任することを決意したのか、7年8カ月に及ぶ長期政権をどう振り返るのか、次の政権運営を誰に託したいのかなどについて、発言に注目が集まります。

伏線はありました。首相はお盆明けから2週連続で、慶応義塾大学病院に通院。体調を心配する声が与党内からも上がっていました。2007年、第1次政権で持病の「潰瘍（かいよう）性大腸炎」の悪化を理由に、約1年で退陣しました。今回、再び持病が悪化して政権を維持できないと判断した模様です。

12年12月に第2次政権が発足して以来7年8カ月、今月24日に連続在職日数が佐藤栄作元首相を抜き、歴代最長となったばかり。自民党総裁としての任期を1年余り残して、退

陣することとなります。

会見では、次の首相についてどう語るのかにも注目が集まります。「ポスト安倍」候補として、岸田文雄・政調会長、石破茂・元幹事長らが有力視されています。菅義偉官房長官の名前も浮上しています。首相は岸田氏への期待が高いとされていますが、会見でどこまで言及するのか。その発言が次期総裁選びに影響を与える可能性もありそうです。

14:20

立憲・安住国対委員長「政治や社会の状況が大きく変わる」

安倍晋三首相が辞任の意向を固めたことについて、立憲民主党の安住淳国会対策委員長は国会内で「史上最長の（首相の）在任期間で、7年半近くアベノミクスを中心にした日本の政治や社会の状況は、これで大きく変わる。本当に驚いた」と記者団に語った。

安住氏は「新たにまったく今までとは違う政治状況が生まれる。折しも野党再編も進んでいる」と指摘。自民党内の今後の動向については「どういうリーダーを選んでいくのかまったく分からないが、『安倍1強』というのが終焉（しゅうえん）を迎えるということだ」と述べた。

14:15

橋本聖子・男女共同参画相「え、うそー」

橋本聖子・男女共同参画相は記者の取材を受けている最中、秘書官から差し出されたスマートフォンで、安倍晋三首相が辞任の意向を固めたとのニュース速報を確認した。「え、うそー。辞任の意向？」

14:02

自民党本部で二階幹事長らと会談

安倍晋三首相は自民党本部を訪れ、二階俊博幹事長らと10分間会談した。辞任の意向を伝えたとみられる。

首相が辞任の意向

安倍晋三首相が辞任の意向を固め周囲に伝えた。

【特集】安倍晋三政権の7年 辞任を迎えるまで

午前の動き

閣議後に麻生氏と会談

安倍晋三首相は午前の官邸での閣議の後、麻生太郎副総理兼財務相と会談した。麻生氏は官邸を出る際、記者団の質問に答えなかった。

一方、首相側近の衛藤晟一沖繩北方相は閣議後の記者会見で、首相の体調について「元気で頑張っています」と述べた上で、「週に1回、病院に通った方が良いというのであれば、堂々とやられたらいい。そのことを国民にある程度明らかにして、という具合に思っている」と語った。

解説=三輪さち子記者

さまざまな臆測、首相のメッセージは

安倍晋三首相が官邸で正式に記者会見するのは、通常国会が閉幕した翌日の6月18日以来、約2カ月半ぶりとなります。この日の政府対策本部で方針を決める新型コロナウイルス対策について説明するのが会見の主な目的ですが、不安視されている自身の健康状態をどう説明するのかに、注目が集

まっています。

首相はお盆明けから2週連続で、慶応義塾大学病院に通院。2007年には持病の悪化から一度は政権を手放しており、体調を心配する声が与党内からも上がっています。最高指導者の健康状態は政権運営に直結し、国民生活にも影響を及ぼすだけに、関心事となっています。

また、首相は今日午前、閣議の後に麻生太郎副総理と官邸内で会談しました。会談後、麻生氏は無言で官邸を後にしましたが、今後の政権運営について様々な臆測を呼んでいます。そんななかでの首相会見。国民に向けてどのようなメッセージを発するのか、注目です。

一方、首相は会見で、新型コロナウイルス感染症の今後の対応方針についても説明する見通しです。6月以降、新規感染者数は再び増え続け、「第2波」とも言われる流行がありました。しかしこの間、首相は会見を開かず、野党が求める臨時国会の開催にも応じていません。感染が拡大しているさなかに、観光支援策「Go To トラベル」を始めたことや、支援対象からの「東京外し」による混乱などについて、首相自身がきちんと国民に説明する機会はありませんでした。

そうした意味でも、今日の会見はこの間の政府のコロナ対応は十分だったのか、首相の考えと対応の是非が問われそうです。

安倍首相が退陣へ、コロナ下で持病悪化…歴代最長政権に幕 読売新聞 2020/08/28 14:47



新型コロナウイルス感染症対策本部でワクチン確保や検査体制の拡充など追加対策を表明する安倍首相（28日午後、首相官邸で）＝源幸正倫撮影

安倍首相は持病の悪化を理由に退陣する意向を固めた。28日夕の記者会見で表明する。新型コロナウイルスへの対応が長期化する中、体調に不安を抱えながら難局のかじ取りに当たるのは困難と判断した。第1次内閣を含め、歴代最長を記録した長期政権が幕を閉じる。

自民党は後継の総裁を選出するが、党内には岸田政調会長や菅官房長官、石破茂元幹事長らを推す声がある。



首相官邸に入る安倍首相（中央）（28日午前9時57分）＝源幸正倫撮影

首相は持病の潰瘍性大腸炎の悪化を受け、8月17日と24日に東京・信濃町の慶応大病院で診察を受けた。しかし、体調は思わしくなく、退陣を決めた。第1次内閣の2007年9月に退陣した際も潰瘍性大腸炎の悪化が原因だった。

首相は12年9月の党総裁選で総裁に返り咲くと、同12月の衆院選で民主党に大勝し、第2次内閣を発足させた。大胆な金融緩和を柱とした経済政策「アベノミクス」を推進し、経済・雇用を回復軌道に乗せた。外交・安全保障政策では日米同盟を基軸とし、集団的自衛権の限定行使を認める安全保障法制を整備した。

党総裁としては衆院選と参院選をあわせて「国政選6連勝」を達成。18年9月の総裁選で石破氏を破り、総裁連続3選を決めた。総裁任期は来年9月まで。

安倍首相、辞任の意向固める

毎日新聞 2020年8月28日 14時19分(最終更新 8月28日 15時23分)



自民党幹部に辞任の意向を伝えるため党本部に入る安倍晋三首相＝東京都千代田区永田町の自民党本部で28日午後2時ごろ、遠藤修平撮影

安倍晋三首相は28日、辞任する意向を固めた。政府・与党関係者が明らかにした。新型コロナウイルス対策などによる疲労の蓄積が側近から指摘される中、首相は17日に続いて24日も東京・信濃町の慶応大病院を訪れ、体調不安が指摘されていた。28日午後5時から、首相官邸で約2カ月半ぶりの記者会見に臨む予定。

首相は潰瘍性大腸炎の持病があり、第1次政権時は2007年7月の参院選で大敗後に体調が悪化し、約1年で退陣した経緯がある。今回も21年9月末まで自民党総裁3期目の任期が残る中、2度にわたって任期途中での辞任となる。

12年12月に第2次安倍政権が発足してからの連続在任日数が24日で2799日となり、佐藤栄作元首相を抜いて歴代1位となったばかりだった。第1次政権と合わせた通算在任日数は、19年11月に戦前の桂太郎元首相（2886日）を超えて最長記録を更新している。今年に入ってからには新型コロナに対する政権の対応が迷走し、内閣支持率が低迷していた。

首相は今月17、24両日に2週続けて慶応大病院を訪れ、計11時間余り滞在。19日には「体調管理に万全を期すために検査を受けた」、24日には「先週の検査の結果を詳しく聞き、追加的な検査を行った」と自ら記者団に説明していた。しかし、政府・与党内では持病の潰瘍性大腸炎の治療で通院しているのではとの見方が広がり、体調を不安視する声が上がっていた。

新型コロナの感染拡大に伴い、首相は今年1月26日から6

月 20 日まで 147 日間連続で出勤。その後も土日に出勤するケースがあり、首相周辺は「明らかに疲れている」などとして、疲労の蓄積を危惧していた。12 年末の第 2 次内閣発足以降、「政権の骨格」として首相を支え続けた菅義偉官房長官や麻生太郎副総理兼財務相、自民党の甘利明税制調査会長らも休養を進言したが、首相は新型コロナ対応で「陣頭指揮」を執りたいとの思いが強く、応じなかったという。

首相が辞任すれば、今後の焦点は「ポスト安倍」に移る。自民党は近く総裁選を行って次期総裁を選出する。総裁選には、自民党の岸田文雄政調会長や石破茂元幹事長が意欲を示しているほか、党内には菅氏や河野太郎防衛相らを推す声もある。

首相は晋太郎元外相の次男で、祖父は岸信介元首相。晋太郎氏の死去に伴い、1993 年衆院選で旧山口 1 区から立候補して初当選し、当選 9 回。03 年には小泉政権下で党幹事長に抜てきされ、05 年に官房長官に就任。06 年 9 月、小泉純一郎元首相の後を受け、52 歳で首相に就任したが、翌 07 年の参院選で大敗後に体調不良で辞任した。

自民党が野党に転落していた 12 年 9 月に党総裁に返り咲き、同年 12 月の衆院選で過半数を得て政権に復帰。15 年には無投票で総裁に再選した。16 年には総裁任期が「連続 2 期 6 年」から「連続 3 期 9 年」に延長され、18 年総裁選で石破氏を破って 3 選を果たしていた。

首相辞意に小池都知事「事実なら非常に残念」

毎日新聞 2020 年 8 月 28 日 14 時 56 分(最終更新 8 月 28 日 15 時 31 分)



小池百合子知事＝丸山博撮影

安倍晋三首相が辞任の意向を固めたことについて、東京都の小池百合子知事は 28 日の定例記者会見で「事実であれば非常に残念。新型コロナウイルス対策、オリンピック・パラリンピックなど国と連携を図りながら進めていかなければならないテーマが多々ある。今後、どのような形になるのか、国との連携をしっかりと取ることは変わりなく進めていきたい」と述べた。【稲垣衆史】

安倍首相、辞任の意向 持病悪化理由に

2020/8/28 14:34 情報元日本経済新聞 電子版



新型コロナウイルス感染症対策本部の

会合で発言する安倍首相（28 日、首相官邸）

安倍晋三首相は 28 日、辞任する意向を固めた。持病の悪化で職務の継続が困難だと判断した。同日夕の記者会見で正式に表明する。新総裁が決まり次第、内閣総辞職する。次の総裁選は 9 月にも実施される見通しだ。

首相は潰瘍性大腸炎の持病がある。第 1 次政権で健康状態の悪化を理由に突如、退陣し「政権投げ出し」などと批判された。今回は新型コロナウイルスの対応にあたるさなかでの辞任となった。

新型コロナの対応で執務が続き、今夏は例年訪れていた山梨県鳴沢村の別荘で静養をとらなかった。最近では周囲に疲れを訴えていた。報道陣の前で壁に手をついたり歩行が不自然な場面もあった。

8 月 17、24 日両日に都内の病院で検診を受けた。24 日の受診後、記者団に「体調管理に万全を期し、これからまた仕事を頑張りたい」と述べていた。

2012 年 12 月に旧民主党から政権を取り戻して第 2 次政権を発足した。官邸主導の体制を敷き、第 1 次政権を合わせた通算在任日数は桂太郎氏を超えて最長を記録した。連続在任日数でも 24 日に 2799 日に達し、佐藤栄作氏を抜いて歴代トップとなった。

自民党は後継総裁の選出を急ぐ。新総裁の任期は安倍首相の残りを引き継ぐことになるため 21 年 9 月末に切れる。

石破茂元幹事長の出馬が有力視される。岸田文雄政調会長も出馬を模索するとみられる。現内閣の体制を引き継ぐよう菅義偉官房長官や麻生太郎副総理・財務相を推す動きがでる可能性もある。

新型コロナの対応が欠かせないため、党則の例外規定に沿って両院議員総会で後任を選ぶ案がある。衆参両院議員と都道府県連代表による投票となる。選出後速やかに衆参両院で首相指名選挙をし新内閣を発足させる。

党員の声を反映するため、通常の投票とする選択肢もある。1 週間から 12 日程度の選挙期間を設ける例がある。党所属の国会議員による投票と党員投票を合計して争う。

首相は政権発足後、金融、財政、成長戦略のアベノミクス「3本の矢」を打ち出した。民主党政権で 6 重苦といわれた円高株安は是正され、日本市場は外国人投資家から注目を集めた。法人実効税率の引き下げも実現した。

集団的自衛権を一部容認する安全保障関連法を成立させるなど安全保障政策にも注力した。特定秘密保護法を制定し、日本版国家安全保障会議（NSC）を創設した。

外交ではトランプ米大統領と蜜月関係を築いた。ロシアのプーチン大統領や中国の習近平（シー・ジンピン）国家主席らと首脳外交を展開した。

首相、午後 3 時半に公明代表と会談 辞意伝達か

産経新聞 2020.8.28 15:45 政治政策 PR

安倍晋三首相は 28 日、公明党の山口那津男代表と国会内で会談した。辞任理由について伝えているとみられる。

安倍晋三首相が辞任の意向 体調悪化、第2次内閣発足から7年8カ月

東京新聞 2020年8月28日 14時46分



官邸に入る安倍首相＝28日午前（小平哲章撮影）

安倍晋三首相が、辞任する意向を固めたことが分かった。自民党幹部が28日、明らかにした。首相は28日午後5時から官邸で記者会見を開き、自ら辞任の経緯を説明するとみられる。2012年12月の第2次内閣発足から約7年8カ月、改憲や北朝鮮による日本人拉致問題の解決に道筋を付けられないうまま退陣となる。自民党は速やかに総裁選を実施し、新総裁を選出する。

首相は今年1月7日、東京・信濃町の慶応大病院で約7時間半にわたって「日帰り検診」を受け、24日に再び受診した。両日とも「検査」と説明していたが、異例の2週連続の通院で、体調不良との臆測が広がっていた。首相は第1次安倍政権時の2007年9月、持病の潰瘍性大腸炎の悪化を理由に退陣していた。

「ポスト安倍」候補には、自民党の岸田文雄政調会長や石破茂元幹事長らが意欲を示している。安倍政権を支え続けてきた菅義偉官房長官を推す声もある。

安倍首相 辞任の意向固める 持病が悪化したことなど理由に NHK8月28日 14時32分



安倍総理大臣は、持病が悪化したことなどから国政に支障が出る事態は避けたいとして、総理大臣を辞任する意向を固めました。安倍総理大臣は、28日夕方記者会見することになっていて、理由などをみずから説明するものとみられます。安倍総理大臣は、ことしの夏は、新型コロナウイルスへの対応などで、連日、総理大臣官邸に入り、執務にあたりました。今月16日からは3日間夏休みを取り、都内の自宅で過ごしましたが、17日には東京・新宿区の慶応大学病院におよそ7時間半滞在して日帰りの検診を受けました。

1週間後の24日にも再び慶応大学病院を訪れ、およそ3時間半滞在したあと「17日の検査の結果を詳しくうかがい、追加的な検査を行った。体調管理に万全を期して、これから仕事を頑張りたい」と述べていました。

こうした中、安倍総理大臣は、検査の結果、持病の「潰瘍性大腸炎」が悪化していることが分かったことなどから国政に支障が出る事態は避けたいとして、総理大臣を辞任する意向を固めました。

28日午後5時から、総理大臣官邸で記者会見することになっていることから、理由などをみずから説明するものとみられます。

安倍総理大臣は、14年前の平成18年、戦後最年少の52歳で総理大臣に就任しましたが、持病の潰瘍性大腸炎が悪化するなどして、在任期間366日で辞任しました。

このため、今回も、持病の悪化など健康不安がささやかれる中、政府・与党内からは、休養を十分にとるよう勧めるなど、安倍総理大臣の体調を心配する声が出ていました。

平成24年の衆議院選挙で政権を奪還し、5年ぶりに再び総理大臣座に就任し「経済再生」を最優先に「アベノミクス」を推進したほか就任当時5%だった消費税率を2度にわたって引き上げ、今の10%にしました。

去年の皇位継承とそれに伴う「改元」にも、政権をあげて取り組みました。

また、アメリカのトランプ大統領と個人的な信頼関係を構築し、ロシア外交も精力的に進めました。

さらに、厳しい安全保障環境などを踏まえ憲法解釈を変更して集団的自衛権の行使を限定的に容認する閣議決定をしたうえで、安全保障関連法を成立させました。

ことしに入ってから、新型コロナウイルスへの対応に注力し、4月には特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を出して、国民に外出自粛を要請し、コロナ時代の「新たな日常」をつくる必要があるとして、いわゆる「3つの密」の回避など「新しい生活様式」への取り組みを呼びかけてきました。

第1次政権とあわせた通算の在任期間は去年11月に憲政史上最長となっていて、今月24日には、連続の在任期間も2799日となり、歴代最長となっていました。

安倍総理大臣は、28日午前10時前に総理大臣官邸に入りました。その際、記者団が「おはようございます」と声をかけると、安倍総理大臣は、軽く右手をあげて、「おはようございます」と返しました。そして、午前10時すぎから始まった閣議に出席しました。

閣議の終了後、麻生副総理兼財務大臣ら財務省幹部と新型コロナウイルス対策に関係する予備費の活用などについて意見を交わしたあと、麻生副総理兼財務大臣と2人だけで会談しました。

会談は30分余り行われ、麻生氏はその後、記者の呼びかけにも応じず、無言で官邸をあとにしました。

午後1時から、新型コロナウイルス対策本部の会合に出席し、今後の取り組みを決定したうえで、感染拡大防止と社会経済活動などの両立を図るため、引き続き全力で対策にあたるよう指示しました。

そして、安倍総理大臣は、午後2時前に総理大臣官邸を出て、自民党本部に入り、二階幹事長ら党幹部と会談しています。

安倍首相 自民党の細田元幹事長に辞任の意向伝える

NHK2020年8月28日 15時05分



安倍総理大臣は、みずからの出身派閥の自民党細田派の会長を務める細田元幹事長に辞任の意向を伝えました。

細田氏は、党本部で記者団に対し「安倍総理大臣からは電話で辞意を伝えられた。大変、残念だ。体調が悪いのなら仕方ない。今後については、派閥としてまとまって、安倍総理大臣の指示に従う」と述べました。

安倍首相 辞任の意向 政界の反応は…

NHK2020年8月28日 15時48分



安倍総理大臣が総理大臣を辞任する意向を固めたことについて、政界の反応です。

森法相「びっくりした」

森法務大臣は、NHKの取材に対し、「びっくりした。まだご本人から正式に聞いていないので詳細なコメントはできないが、きょうの新型コロナウイルス対策本部のときの様子などからは、引き続き総理大臣を担われていくのかと思っていた」と述べました。

茂木外相「残念な思いでいっぱい」



茂木外務大臣は、NHKの取材に対し、「7年8か月の間、日本経済の再生をはじめ、日米同盟の強化、地球儀をふかんする外交など、内外ともに存在感の大きい総理大臣だった。病気とはいえ退陣されることは残念な思いでいっぱいだ。安倍総理大臣のこれまでの功績や考え方をみんなで引き継いでいきたい」と述べました。

萩生田文部科学相「後輩への指導を」

萩生田文部科学大臣は、NHKの取材に対し、「報道が事実だとすれば、これまで体調が悪い中でも業務を続けてこられたのに、ここにきて辞任されるのは非常に残念だ。まだお若いので、今後は体調に気をつけていただきながら後輩への指導をしっかりともらいたい」と述べました。

竹本IT担当相「大変残念だ」

竹本IT担当大臣は、NHKの取材に対し、「驚いた。新型コロナウイルスの対策会議が終わったあとも元気だったので、まさか辞めるとは思わなかった。大変残念だ。アメリカのトランプ大統領との親しい関係もあるので、大統領選挙の結果を見るまでは続投して欲しかった」と述べました。

西村経済再生相「全く想像していなかった」



西村経済再生担当大臣は、NHKの取材に対し、「安倍総理大臣は、ここ数日、ふだんと変わらない様子で仕事にあたったので、全く想像していなかった。新型コロナウイルス対策については、安倍総理大臣からの指示も受け、きょうも今後の方向性を決めているので、政府として感染防止と社会経済活動の両立をしっかりと図っていく」と述べました。

北村地方創生相「ゆっくりと休んでほしい」

北村地方創生担当大臣は、NHKの取材に対し、「きょう会ったときはふだんと変わらない様子だったので、辞任と聞いて驚いた。難病を抱えて、十分な休みも取れない中で大変だったと思う。これからは身体を大事にもらい、まずはゆっくりと休んでほしい」と述べました。

副大臣の1人

副大臣の1人は、NHKの取材に対し、「事前に全く聞いていなかったもので、非常に驚いた。憲法改正や北方領土問題、北朝鮮による拉致問題などを、安倍総理大臣なら前に進められるのではないかと期待していただけに、非常に残念だ。少なくとも任期いっぱい続けてほしかった」と述べました。そのうえで、「後任の総理大臣の選び方については、安倍総理大臣がいつまで続けられるかや、いつまでに選出しなければならないかにもよるのではないかと述べました。

自民 岸田政務調査会長「事実関係を確認したい」



自民党の岸田政務調査会長は、新潟市内で記者団に対し、「事実関係を確認したい」と述べました。

自民 稲田幹事長代行「正直、驚いている」



自民党の稲田幹事長代行は、NHKの取材に対し、「全く予想していなかった事態なので、正直、驚いている。まだ新型コロナウイルスが収束せず、先行きが見通せない状況で、安全保障環境も厳しい状況なので政治空白を作ってはいけない。安倍総理大臣には、政権を奪還してから8年近く、経済、安全保障、それに外交で日本の存在感を高めた意味からも、全身全霊で頑張ってきたと敬意を表したい」と述べました。

自民 石破元幹事長「敬意表したい」

前回・おととの自民党総裁選挙で安倍総理大臣と争った、自民党の石破元幹事長は、NHKの取材に対し、「長きにわたる

在任期間に対し、敬意を表したい。8年前、安倍総理大臣とともに幹事長として政権を奪還した感激を改めて思い出している。今後のことについてはまだ何も決めていない」と述べました。

自民 石原元幹事長「さまざま判断されたのだろう」

自民党の石原元幹事長は、NHKの取材に対し、「新型コロナウイルス対応をこれから引き続き、行わなければならないこのタイミングで辞めることになるとは思わず、驚いている。長期政権を担ってきた中で、さまざま判断されたのだろう」と述べました。

自民 中谷元防衛相「総理としても残念だろう」

自民党の中谷元防衛大臣は、党本部で記者団に対し、「新型コロナウイルス対策も景気対策も必要なこの時期に辞任することについては、安倍総理大臣としても残念だろうし、党としても責任感をもって継続して対応しなくてはいけない」と述べました。

そのうえで、安倍総理大臣の後任の総裁を選ぶ総裁選挙について、「党員が参加する総裁選挙をやって、理解と納得と共感が得られるような選び方にしてほしい。丁寧さが欠けると後でできた政権も続かない。丁寧な手続きでやるべきだ」と述べました。

自民 猪口元少子化担当相「人柄が出た決断」

自民党の猪口邦子・元少子化担当大臣は、NHKの取材に対し、「鋭く決断し、中途半端を潔しとしない、安倍総理大臣の人柄が出た決断だと思う。新型コロナウイルスへの対策が道半ばで、災害の脅威も見込まれるなか、政治が止まってはならない。空白を生じさせないよう、いまは自民党が一致団結する必要がある」と述べました。

自民 佐藤前外務副大臣「安全保障環境に大きな影響が…」

自民党の佐藤正久前外務副大臣は、NHKの取材に対し、「お元気そうに見え、大丈夫だと思っていたので、非常に驚いている。米中の対立など安全保障環境が変化し、ミサイル防衛体制や新たな抑止力の議論を始めているなかで、大きな影響が出るのではないかと述べました。

自民党の閣僚経験者の1人

自民党の閣僚経験者の1人は、NHKの取材に対し、「とてもびっくりして、途方に暮れている。このところの安倍総理大臣は、持病との闘いだったのだろう。新型コロナウイルスへの対応もあり、空白を置くことはできないので、党内で対応を考えていきたい」と述べました。

立民 安住国会対策委員長「今までと違う政治状況生まれる」



立憲民主党の安住国会対策委員長は、記者団に対し、「大変驚いている。報道が事実であれば、私どもが懸念していた以上に、仕事を続けるのは大変な状態だったということだろう。政局

への影響は計り知れず、全く今までと違う政治状況が生まれる。『安倍一強』が終えんを迎えるという、この10年で最も大きいインパクトを与える事態だ」と述べました。

国民 玉木代表「今後の体制注視したい」

国民民主党の玉木代表は、記者団に対し、「大変驚いている。職を辞さなければならないほど体調が悪化していたということであれば、治療に専念していただきたい。一方で、新型コロナウイルス対策などで国政は継続されなければならない、後継の総理大臣が誰になるかなど、今後の体制を注視したい」と述べました。

公明 山口代表「驚いている」



公明党の山口代表は、NHKの取材に対し、「安倍総理大臣から辞任の意向を伝えられた。突然だったので大変、驚いている」と述べました。

維新 鈴木宗男参議院議員「7年8か月は歴史に名を刻む」

かつて自民党にも所属していた日本維新の会の鈴木宗男参議院議員は、「驚いた。アメリカのトランプ大統領、ロシアのプーチン大統領といった大国の首脳とも五分の外交を展開した7年8か月は歴史に名を刻むものだ。北方領土問題の解決と日ロ平和友好条約の締結は安倍総理大臣に実現してもらいたかった」と述べました。

共産 小池書記局長「政府・与党には責任ある対応を」



共産党の小池書記局長は、NHKの取材に対し、「新型コロナウイルスは、深刻な事態となっている。報道が事実で、辞任するのであれば、政府・与党には、国政に停滞をもたらすことがないように責任ある対応を強く求めたい」と述べました。

安倍総理大臣が辞任の意向 各界の反応

NHK2020年8月28日 15時38分



安倍総理大臣が辞任する意向を固めたことについて、各界の反応です。

尾身会長「辞任の意向 驚いている」

新型コロナウイルス対策についての政府の分科会の会長で、安倍総理大臣の会見にも同席してきた尾身茂さんは「きのう、政府の会議でお会いした。体調が悪いというのは聞いていたが、声の調子や部屋の出入りの様子などから、そんなに疲弊し

ているという印象ではなかったもので、辞任の意向を知ってとても驚いている。きょうの総理大臣会見ではこれまでの新型コロナウイルス対策の経過を踏まえて、新たな対策の方向性について話していただける予定だと理解している。新型コロナウイルス対策では今が重要な時期なので、政府としてしっかりとリーダーシップが発揮できる体制をすぐにでもとっていただきたい」と話しています。

拉致被害者 家族会代表 飯塚繁雄さん



北朝鮮による拉致被害者の家族会代表で田口八重子さんの兄の飯塚繁雄さんは取材に対し、「突然の辞任の報に驚いていますが、体調が悪いということなら致し方ないと思います。安倍総理は拉致問題を政権の最重要課題と位置づけてくれましたが、被害者家族は高齢化しており、誰が次の総理大臣になっても、責任を持ってすべての被害者の帰国を実現させてほしい」と話しています。

田口八重子さんの長男 飯塚耕一郎さん

田口八重子さんの長男の飯塚耕一郎さんは「これまで、拉致問題の解決に向けてご尽力いただき感謝しています。ただ、残された拉致被害者の帰国が実現しなかったことは残念でなりません」と話しています。

有本恵子さんの父親 明弘さん



神戸市出身の拉致被害者有本恵子さんの父親明弘さん（92）は、「突然のことで何がどうなっているのか分からない。拉致問題を前に進めてくれると期待していたが、残念だ。この辞め方はよくないし、信用を失ってしまうと思う。どうして今辞めることにしたのか、きちんと説明してほしい」と話していました。

市川修一さんの兄 市川健一さん

鹿児島県の拉致被害者、市川修一さんの兄、市川健一さんは「突然の発表で驚きを隠せない。拉致問題に真摯に取り組んでくださったので道半ばで辞任されるのは残念だが、健康が1番なので体を大事にしてほしい。次の総理にも『早期解決を』と繰り返していた安倍総理大臣の意思を引き継いで、拉致被害者家族と一緒にたたかってほしい」と話していました。

政治学者 御厨貴さん

政治学者で東京大学名誉教授の御厨貴さんは、「これだけの長い期間総理大臣を務めていて、本来であれば、有終の美を飾らないといけないはずだが、前回の辞任から何も学べずに、それができなかった。これまで常に新しい課題に取り組んできたが、新型コロナウイルスへの対応で経済や外交の取り組みが

すべて止まってしまった。先が見えない新型コロナウイルスの課題に対応するには体力がいると思うが、それが無くなってしまったのではないかと話しています。

安倍首相辞任 海外メディアが速報

NHK2020年8月28日 14時49分



安倍総理大臣が辞任の意向を固めたことについて、欧米や中国、韓国など海外のメディアは、NHKなど日本のメディアの報道を引用するかたちで相次いで速報で伝えています。

ロイター通信やAP通信は日本のメディアが安倍総理大臣が辞任の意向を固めたと報じたと相次いで速報で伝えました。また、イギリスのBBCも安倍総理大臣が体調の悪化のため辞任すると伝えています。

中国では、国営の中国中央テレビがNHKの報道を引用して安倍総理大臣が持病が悪化したことなどから国政への影響を避けたいとして辞任する意向を固めたと伝えています。

中国共産党系の機関紙、人民日報もNHKの報道を引用して同様の内容を報じ、韓国では公共放送のKBSや通信社の連合ニュースが速報で一斉に伝えています。

米ニューヨーク・タイムズ 「コロナ対応に不満も」

アメリカの有力紙、ニューヨーク・タイムズは「日本で在任期間最長のリーダーが病気を理由に辞任」という見出しで伝えています。

記事のなかで「安倍総理大臣はトップの交代に慣れている国で8年近く首相を務め、偉業を成し遂げた」としています。

その一方で「憲法改正や北方領土の返還などいくつかの目標を達成できなかった」と報じています。

そのうえで辞任の意向を固める前の状況について「安倍総理大臣は不支持の割合が上がり、非常に不人気なリーダーになっていた。国民は政権の新型コロナウイルスへの対応に不満を抱いていた」と指摘しています。

韓国 連合ニュース 「新しい総理就任 韓国との関係変化か」
安倍総理大臣が辞任の意向を固めたことについて、韓国のメディアも相次いで速報しました。

このうち、通信社の連合ニュースは、NHKの報道を引用する形で、持病が悪化したことなどから国政に支障が出る事態は避けたいとして、辞任する意向を固めたと伝えています。

そのうえで、「安倍総理大臣は歴史問題について強硬な態度を示してきたが、新しい総理が就任すると、韓国との関係でどのような変化があるかも注目される」としています。

また、保守系の朝鮮日報は電子版で、「今月24日に連続の在任期間が歴代最長となったが、新型コロナウイルスへの対応の失敗などで支持率が低下していた」と伝えています。

ロシア 国営メディアなどが報道

ロシアでは国営のロシア通信などが日本の報道を引用して安

倍総理大臣が総理大臣を辞任する意向を固めたことを一斉に伝えています。

ロシアではプーチン大統領が安倍総理大臣と首脳会談を重ね平和条約交渉を続けてきたことが詳しく報じられてきただけに関心を集めています。

米 ワシントン・ポスト「トランプ大統領と親密な関係」
アメリカの有力紙、「ワシントン・ポスト」はNHKなど日本のメディアの報道を引用する形で、安倍総理大臣が辞任の意向を固めたことを伝えました。

この中では、安倍総理大臣の在任期間が日本で最長であることを示したうえで、「アベノミクスと呼ばれる政策パッケージを通じて日本経済を復活させようとしたが多くのエコノミストが必要だとする抜本的な改革はできなかった」との見方を示しています。

また、「中国や北朝鮮などの脅威に対応する広範な取り組みの一環としての憲法改正にも至らなかった」としています。

一方で、「最近ではトランプ大統領と何度かゴルフをして親密な関係にある」としたほか「日本の活性化に向けて東京オリンピックを開催することを熱望していた」と伝えています。

【速報】安倍首相 辞任の意向固める、自民党本部では

JNN2020年8月28日 15時30分

自民党本部では、安倍総理辞任の意向の報を受け、党幹部らによる役員会が行われました。自民党本部から小竹記者の報告です。

【速報】首相辞任の意向固める 野党に波紋

JNN2020年8月28日 15時24分

安倍総理が辞任の意向を固めたことについて、野党側のリアクションです。

安倍総理「業務遂行の判断ができず、辞意を固める」

ANN2020/08/28 15:40

安倍総理大臣は自民党の役員会で「業務遂行の判断ができず、辞意を固める」と話しました。自民党幹部が明らかにしました。

安倍総理 辞任の意向固める 持病の悪化が影響か

ANN2020/08/28 14:23

体調不安がささやかれていた安倍総理大臣が辞任する意向を固めたことがANNの取材で分かりました。

政府関係者によりますと、安倍総理は辞任する意向を固めました。この後、記者会見を行い、理由を説明するものとみられます。安倍総理は8月に2週連続で東京都内の大学病院に通うなど体調不安がささやかれていました。官邸側は「検査を受けた」と発表するにとどめていましたが、持病の潰瘍（かいよう）性大腸炎の悪化などが取り沙汰されています。安倍総理が辞意を固めたことで、今後の焦点は「ポスト安倍」の総裁選となりそうです。

安倍総理 辞任の意向固める 持病悪化か体調不安も

ANN2020/08/28 15:07

体調不安がささやかれていた安倍総理大臣が辞任する意向を固めたことが分かりました。

政府関係者によりますと、安倍総理は辞任する意向を固めました。28日午後2時すぎに自民党本部に入り、二階幹事長と面会して辞任する意向を伝えているとみられます。この後、記者会見を行って理由を説明するものとみられます。安倍総理は今月に2週連続で東京都内の大学病院に通うなど体調不安がささやかれていました。官邸側は「検査を受けた」と発表するにとどめていましたが、持病の潰瘍（かいよう）性大腸炎の悪化などが取り沙汰されています。安倍総理が辞意を固めたことで、今後の焦点は「ポスト安倍」の総裁選となります。

安倍首相、体調悪化で辞任の意向を固める

NNN2020年8月28日 15:03

安倍首相は自身の体調問題により、首相を辞任する意向を固めました。

関係者によりますと、安倍首相は、体調が悪化したことなどから辞任する意向を固めました。安倍首相が体調不良を理由に首相を辞任するのは1次政権下の2007年に次いで2度目です。

安倍首相をめぐっては、新型コロナウイルスへの対応で一時、147日間連続で勤務したことなどから、6月の通常国会閉会後から既に疲労の蓄積などによる体調不良が懸念されていました。

こうした中、複数の政府与党関係者によると、持病の潰瘍性大腸炎が再び悪化し、8月17日には日帰り検診として都内の病院に入り、治療も受けたということです。さらに翌週24日にも病院に赴き「再検査を受けた」と説明していました。その後、自身の体調については「体調管理に万全を期してこれからまた仕事を頑張りたい」と話していましたが、最終的には辞任する意向を固めたものです。

安倍首相は2012年12月の第2次政権発足以降、約7年8か月にわたって首相を務め、8月24日には、大叔父の佐藤栄作元首相を超えて連続在任日数の歴代1位となったばかりでした。

収束の兆しがみえない新型コロナウイルスへの対応や、大きく落ち込んだ経済の立て直しに向けて、政治空白は許されません。後任を決める自民党総裁選挙をいつどのように実施するのか、政局は流動化します。

安倍首相の後継がトランプ氏だとどうなるのか 次期首相に求めたい日本改革のための方策

植田 統：弁護士、名古屋商科大学経営大学院（MBA）教授
著者フォロー

東洋経済 2020/08/28 16:05



日米貿易協定交渉の最終合意を確認した共同声明に署名後、握手する安倍晋三首相（左）とトランプ米大統領（写真：AFP＝時事）

安倍晋三首相が辞任の意向を周囲に示したと伝えられた。次期首相は菅官房長官か、石破前幹事長か、岸田政調会長かと噂が飛び交っているが、それよりも大事なのは、次期首相がどういう政策を展開し、日本をどういう方向に導いてくれるかだ。安倍政権の下、金融を緩和し、お金をジャブジャブにばらまいて多少の成長は実現できたかも知れないが、根本問題は何も解決していない。コロナ禍で日本企業のIT化が致命的に遅れていることが露見し、国家財政は給付金のばらまきで一挙に悪化した。

こうした事態を打開するためには、ドナルド・トランプ大統領みたいに思いきったことをする人が次期首相になってもらって、**Make Japan Great Again** をどう実現するかを考えてもらわないとダメだと筆者は考える。トランプ大統領が日本の次期首相になったらというありえない想定の下、彼ならきつとやるに違いない政策を考えてみた。

アメリカは どうして **Great** なのか

アメリカは どうして **Great** なのか。答えを1つに絞り込むとすれば、それは世界最先端のテクノロジーだ。

世界最先端のミサイル防衛システム、無人攻撃機、衛星攻撃兵器。コロナワクチンの最先端を走るファイザー、ジョンソン・エンド・ジョンソン。世界最高の軍事技術を持つロッキード・マーティン、レイセオン、ノースロップ・グラマン。世界最先端のIT技術を持つGAF AやMicrosoft、IBM。すべてがテクノロジーに立脚している。

それを支えるのは、世界中から流れ込んできた世界最高の頭脳である。Googleの創業者はロシア人で、現在のCEOはインド人。いま話題のZoomは中国人の創業だ。

つまり、世界最高の技術を支えている者の多くが、移民である。そうした移民が自己の能力だけでアメリカで成功できることが示すように、出身国や人種に縛られない自由な競争社会が形成されている。

世界最高の頭脳がアメリカに集まってくるのは、ハーバードやスタンフォードに代表される世界最高の大学がここに存在するからだ。アメリカは言うに及ばず、イスラエルから、インドから、中国から、世界最高の頭脳が集まってくる。そして、大学は十分な研究費と報酬を彼らに提供し、新技術の開発を行わせる。

大学で開発された世界最高の技術を事業化するのが、シリコンバレーである。そこでは、ビジネス化のための資金供給、人材供給、マネジメントノウハウの提供のエコシステムが出来上がっている。だから、頭脳ばかりでなく、野心も持った起業家を引きつける。

もちろん、大企業だって負けてはいない。経営者は株主に監視

され、つねに時代の最先端を走ることを要求される。改革をやめて立ち止まっている企業、好業績を上げられないCEOは淘汰されていく。

こうして常時走り続けることを期待される大企業の中では、徹底した能力主義が実施される。社員は自分の能力を高めることに必死になる。時代に取り残された人々は、一線から消えていく。

つまり、アメリカが世界最高のテクノロジーを持ち **Great** であり続けられるのは、移民を受け入れる文化、自由競争の社会、世界最高の大学、起業を容易にするインフラ、企業内での活発な競争の存在など多様な要素が、それを支えているからである。

日本を **Great** にするための教育改革

こうしたシステムを熟知しているトランプ大統領が日本の首相になったら、どうするだろうか。

おそらくトランプ首相は、まず日本の人口が1年で40万人も減少している現実に驚愕するに違いない。移民の嫌いなトランプ首相でも、人口の減る社会で成長は困難だから、日本では思いきった移民政策に乗り出すのではないだろうか。

日本は四方を海に囲まれていること、日本語という特殊な言語しか通用しないことから、鋼鉄の壁よりも高い移民障壁が存在している。何もしなければ移民が入ってきてくれないので、トランプ首相は、きつと年間50万人の移民目標を掲げ、思いきった優遇策に乗り出すだろう。

そして、移民が日本に定着しやすくするために、英語の公用語化も図る。楽天では社内公用語を英語とし、日本人同士の会議も英語でやっていると聞くと、日本国でも、日本語に加えて英語を公用語とし、移民が生活しやすい土壌を作っていくだろう。

次に、大学だ。日本の大学は、いまだに昭和初期に作られた学部がそのまま残っている。情報工学は、工学部の中の1つの専攻にすぎない。こんな状況では、世界がしのぎを削っているITやAIの技術者が育たない。現在の日本でも、IT技術者は30万~40万人不足しているといわれ、それが10年後には80万人にもなろうとしている。

こうした状況を打開するために、旧帝7大学に定員1000~2000人規模の情報工学部を新設する。そこには、海外から最先端の頭脳をヘッドハントする。そのためには、高い給与も用意する。むろん、その前提は授業が英語で行われることだ。旧帝大でこうしたイニシアティブが取られれば、多くの私大も追随していくに違いない。

大学だけ変えても日本国民全体のITリテラシーや語学能力は高まらないから、その前の中学校の教育も抜本的に変える。1人1台のパソコンを提供し、外国人教師を招き、IT教育、語学教育を強化する。

ここでも教員が不足するから、ビジネス界からIT人材を迎え入れる。外国から英語人材を迎え入れる。その際、教員免許などは無視して、思いきって教育現場の改革を図っていくことが必要だ。

こうして教育機関の整備ができ、そこから起業家予備軍が育ってきたら、その人たちの起業を支援する仕組みを作っていく。国の予算で全国7、8カ所にインキュベーションセンターを整備し、ベンチャーキャピタルにも国の予算を1000億円規模でドンと入れていく。

同時に、予算の垂れ流しにならないように、民間からベンチャー経営に詳しい人材を採用し、投資先には厳しい指導を行っていく。

日本をGreatにするための霞が関と企業改革

日本で起業が成功しない要因は、これだけではない。むしろ、霞が関のがんじがらめの規制や新技術、新製品を受け入れようとならない民間企業の風土が大きな障壁となっている。

ベンチャー企業発展の障害となる規制については、新しい省として「規制改革省」を創設する。そこで、日本にある規制を全部検討し、時代遅れなもの、過剰なものは片っ端から廃止していく。

新技術、新製品を受け入れようとならない民間企業の体質については、組織文化の変革を迫る。年功序列の組織の中では、コンセンサスの形成が重視され、保守的になり、1人でも反対者がいると何も前に進まないという問題がある。これを何とか打ち壊す。

そのためには、安倍政権下で始められたコーポレート・ガバナンス強化の動きを加速させる。投資家である年金や運用会社が企業のパフォーマンスを厳しく監視し、リスクを取らず現状に立ち止まっている経営者、既存の取引先ばかり大事にして新技術・新サービスの購入に踏みきれない経営者に、経営の改革を迫っていく。

企業経営を合理的なものに変えていくためには、企業人材のマインドを変えなければならない。だから、年功序列を打ち壊し、成果主義を広げるために、厚労省は転職市場の整備を進める。解雇の困難な労働法の改正を図る。転職が不利になる企業の退職金制度の変更を迫る。

加えて、主婦の労働市場への参入を妨げている配偶者控除は撤廃する。主婦を第3号被保険者として、厚生年金保険料の負担がいらなくなるという制度も撤廃する。

まだまだ、これだけでは十分でないかもしれないが、これだけやれば、少しはMake Japan Great Againの目標に近づいていけるはずだ。安倍首相の後継者には、仮想トランプ首相の採用する政策を取り入れてもらいたい。

ここでも教員が不足するから、ビジネス界からIT人材を迎え入れる。外国から英語人材を迎え入れる。その際、教員免許などは無視して、思いきって教育現場の改革を図っていくことが必要だ。

こうして教育機関の整備ができ、そこから起業家予備軍が育ってきたら、その人たちの起業を支援する仕組みを作っていく。国の予算で全国7、8カ所にインキュベーションセンターを整備し、ベンチャーキャピタルにも国の予算を1000億円規模でドンと入れていく。

同時に、予算の垂れ流しにならないように、民間からベンチャー経営に詳しい人材を採用し、投資先には厳しい指導を行っていく。

日本をGreatにするための霞が関と企業改革

日本で起業が成功しない要因は、これだけではない。むしろ、霞が関のがんじがらめの規制や新技術、新製品を受け入れようとならない民間企業の風土が大きな障壁となっている。

ベンチャー企業発展の障害となる規制については、新しい省として「規制改革省」を創設する。そこで、日本にある規制を全部検討し、時代遅れなもの、過剰なものは片っ端から廃止していく。

新技術、新製品を受け入れようとならない民間企業の体質については、組織文化の変革を迫る。年功序列の組織の中では、コンセンサスの形成が重視され、保守的になり、1人でも反対者がいると何も前に進まないという問題がある。これを何とか打ち壊す。

そのためには、安倍政権下で始められたコーポレート・ガバナンス強化の動きを加速させる。投資家である年金や運用会社が企業のパフォーマンスを厳しく監視し、リスクを取らず現状に立ち止まっている経営者、既存の取引先ばかり大事にして新技術・新サービスの購入に踏みきれない経営者に、経営の改革を迫っていく。

企業経営を合理的なものに変えていくためには、企業人材のマインドを変えなければならない。だから、年功序列を打ち壊し、成果主義を広げるために、厚労省は転職市場の整備を進める。解雇の困難な労働法の改正を図る。転職が不利になる企業の退職金制度の変更を迫る。

加えて、主婦の労働市場への参入を妨げている配偶者控除は撤廃する。主婦を第3号被保険者として、厚生年金保険料の負担がいらなくなるという制度も撤廃する。

まだまだ、これだけでは十分でないかもしれないが、これだけやれば、少しはMake Japan Great Againの目標に近づいていけるはずだ。安倍首相の後継者には、仮想トランプ首相の採用する政策を取り入れてもらいたい。

ビジネスジャーナル 2020.08.28 15:39

安倍首相、病気悪化&辞任は昭恵夫人が原因との見方…次期首相に岸田氏が有力視

28日、安倍晋三首相が辞任するとメディアが一斉に伝えた。安倍首相は同日17時から会見を行い、政府の新型コロナウイルス感染拡大への対応策と自身の体調について説明する予定だったが、会見直前で辞任が公になった。

安倍首相は今月17日、24日に2週にわたり慶応大病院を訪れ、通常の検診だと発表されていた。

「特に今月に入り自民党関係者の間では、明らかに安倍首相の顔色や足取りが悪く、気力を失っているという話が広まっており、2週連続の検診で一時は辞任説も流れていました。マスコミの政治記者たちも情報集めに奔走していましたが、どの社も本当の病状や進退に関する首相の意向をつかめず、昨

日の段階では“続投”という空気でした」(全国紙記者)

「昨日の夕方、ブルームバーグが菅義偉官房長官へのインタビュー記事を配信し、菅長官は安倍首相の続投を断言した。マスコミの間では“外電を使って辞任説を打ち消した”と受け止められ、これで続投が固まったとみられていた。

安倍首相の病状と進退については、麻生太郎財務相兼副総理、今井尚哉首相補佐官、昭恵夫人、実母の洋子さんの4人にしか伝えられていなかった模様。今回は最後まで情報が漏れなかった。もしくは、今日昼の麻生さんとの2人きりの会談時点まで、ギリギリまで迷っていた可能性もある」(別の全国紙記者)

安倍首相といえば第1次政権時の2007年、持病の潰瘍性大腸炎が悪化して入院し、退陣した経緯があるが、コロナ対応や7月の豪雨災害への対応などが重なり、1月から今月15日まで連続勤務が続いていたため、体調を心配する声もあった。

「安倍政権の大きな危機といえば、森友問題、桜を見る会の問題ですが、どちらも原因をつくったのは安倍首相夫人の昭恵さんです。政府のコロナ対応が批判を浴びている最中にも、外出自粛下での昭恵さんのお花見パーティーや県外への団体旅行が発覚するなど、そのたびに首相は批判の矢面に立たされてきた。そのため、首相官邸は昭恵さんを政権の大きなリスクとみて、常に情報収集やメディア対策に負われてきた。そんな首相夫人は、歴代内閣で初めてでしょう。

安倍首相の持病は精神的肉体的なストレスとも関係する病気ですが、昭恵さんの起こしたさまざまな問題をめぐる苦悩や対応が、首相の体にダメージを与えたという見方も強いです」(全国紙記者)

麻生財務相との会談

実際、辞任発表前、自民党関係者からはこんな声も出ていたという。

「もし体調悪化で安倍さんが辞任ともなれば、昭恵さんのせいですよ。彼女がいなければ、こんなに次々と問題が起きて安倍さんの気苦労が重なることもなかった。森友の問題で財務省が叩かれていたとき、財務相の麻生さんは頑なに謝罪を拒んでいましたが、麻生さんは周囲に『なんで昭恵さんが起こした問題で、俺が謝んなきゃならねえんだよ』と言っていたくらいですかね」

ちなみに辞任後の政権運営について、全国紙記者はいう。

「安倍首相は15日午後、私邸で麻生さんと2人きりで約1時間にわたり会談し、さらに今日の昼にも約30分、会談しています。副総理である麻生さんに首相代理の話をしたものの、麻生さんは固辞した模様。新たな首相が選ばれるまで安倍首相が引き続き執務を行うと伝えられているが、もしそうなれば、その間は菅長官が事実上のトップとなる。

自民党は急いで総裁選を行うことになるが、安倍首相の細田派、麻生派、岸田文雄政調会長の岸田派が組んで、岸田さんを総裁に選出する可能性が高いのでは。ただ、衆議院の任期が切れる来年10月までには必ず衆院選があり、来年の通常国会が終わったタイミングで“選挙に勝てる総裁”を選びなおすか

もしれない。そうなる石破茂氏をはじめ、いろいろな線も出てくる」

安倍首相は今週24日、連続在任期間で大叔父の佐藤栄作元首相を抜いて歴代トップ(2799日)を記録していたが、その矢先での辞任となった。

(文=編集部)

<視点>安倍首相の信念ありきの敵基地攻撃能力の保有検討 政治部・上野実輝彦

東京新聞 2020年8月28日 09時27分

安倍晋三首相が意欲を示す「敵基地攻撃能力」の保有に関する検討が近く、政府内で本格化する。地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」の配備撤回に伴い、新たな安全保障政策を策定することが名目だが、唐突感は否めない。現場の要望の積み上げではなく、首相の信念が出発点になっているからだ。

政府や自民党の議論で前提となっているのが、ミサイル技術を向上させる北朝鮮への対策の必要性だ。北朝鮮は不規則な軌道で低空飛行する新型ミサイルの開発を加速。日本の従来の防衛システムでは迎撃が難しく、発射実験の際は自衛隊のレーダーで航跡を捉えられなかったとされる。

ただ、専門家の多くは北朝鮮が実際に日本を攻撃する可能性は高くないと分析する。仮に日本を攻撃して米国の反撃を招けば、自国の存亡にかかわるからだ。日本の安保にとっての脅威はむしろ、不透明な軍拡と東シナ海などへ海洋進出を図る中国だろう。

だが、中国に対抗しうる敵基地攻撃能力を備えるには、膨大な予算と歳月が必要。国防費を過去20年間で10倍に増やしてきた中国に、軍拡競争で挑めば、地域の不安定化につながる。求められるのは軍縮に向けた対話と外交努力で、敵基地攻撃能力の保有は現実的とは言えない。

にもかかわらず、なぜ唐突に議論を始め、性急に結論を出そうとするのか。敵基地攻撃能力の保有は首相の持論で、官房副長官だった2003年から検討すべきだと主張してきた。自らの信念の実現が優先され、現場の意見は反映されていないのが要因だ。

似た例は過去にもある。18年改定の防衛大綱に盛り込んだ「いずも」型護衛艦を事実上の空母化するための改修は、当時の防衛相が「自衛隊の要請があったわけではない」と認めた。政府はその後、甲板に搭載する戦闘機F35Bを米国から購入すると決定。首相がトランプ米大統領に約束した米国製兵器の購入ありきの対応と批判された。

米国製兵器購入の一環である地上イージスも同じ。首相に近い防衛相らのトップダウンで購入が決まったとされ、幹部自衛官は「現場の議論の積み上げがなく、買ってから使い方を考えるという本末転倒だ」と漏らした。陸海空の各自衛隊はどこが運用するかを巡って押しつけ合った。

官邸が政策を主導するメリットもあるだろう。省益や政治的な利害にとらわれず、総合的で素早い判断は可能だ。その半

面、判断を誤り国や国民の利益を損なう危険性とは常に隣り合わせとなる。

そうならないためには情報を開示し、国会などで議論を交わし、国民や国際社会の理解を深めていくことが必要だ。首相には多様な声に耳を傾ける姿勢が決定的に欠けている。敵基地攻撃能力の保有を検討するなら、必要性や実現可能性、問題点を丁寧に説明することから始めるべきだ。

公明党、敵基地攻撃能力保有の検討議論を本格化 慎重論強く賛同意見なし

東京新聞 2020年8月28日 11時24分

公明党は27日の外交安全保障調査会で、政府が検討している敵基地攻撃能力の保有を含む安保政策見直しに関する議論を本格化させた。党内には、敵基地攻撃能力の保有に対する慎重論が強く、賛同する意見は出なかった。

敵基地攻撃能力の保有は、政府が配備を断念した地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」の代替案として浮上。この日の会合で講師を務めた元海上自衛隊海将の香田洋二氏は「白紙の状態を検討に着手してもよいのでは」と語った。これに対し、出席者からは「白紙で検討するというのは、どういう意味か」との指摘があった。

佐藤茂樹調査会長は会合後、党としての意見集約は時期を含めて未定だと記者団に説明した。

公明党では、これまでに山口那津男代表が「敵の国に攻撃を加えることになれば、国際法で禁じられている先制攻撃に当たるのか、自衛（権行使）なのか非常に紙一重で区別が付かない」と指摘。斉藤鉄夫幹事長も「軍拡競争をおおるのではないのか、外交努力がおろそかになるのではないのか」などの論点を挙げ「しっかり議論しなければいけない」と述べている。（市川千晴）